

# 京柔整会報

機関誌 139号



巻頭言

「ピンチをチャンスに変えてチャレンジして行く」 副会長 林啓史

特集

【会員インタビュー】 見原 誠 監事に聞く

公益社団法人 京都府柔道整復師会

平成28年4月20日

## 目 次

|   |    |
|---|----|
| ◆◆ 表紙の写真 .....  | 1  |
| ◆ 巻頭言 『ピンチをチャンスに変えてチャレンジして行く』<br>..... 副会長 林 啓史 .....                         | 2  |
| ◆◆ 特集 【会員インタビュー】 見原 誠監事に聞く .....  | 4  |
| ◆◆ 会館移転計画について<br>会館移転計画に係る説明会 .....   | 6  |
| 臨時総会 .....  | 6  |
| ◆◆ 平成27年度 近畿ブロック会 .....   | 7  |
| ◆◆ 第66回 京都接骨学会、保険講習会 .....  | 8  |
| ◆◆ 「筋力アップ体操と福祉相談のサロン」開催 .....   | 10 |
| ◆◆ 平成27年度 在宅療養等従事者確保支援事業<br>認知症対応力向上研修会 .....                                 | 11 |
| ◆◆ 京柔整 介護支援専門員セミナー開催 .....  | 12 |
| ◆◆ 「京都府柔道整復師会 特別昇段審査会」救護活動報告 .....  | 13 |
| ◆◆ 「第12回 八幡親善柔道大会」救護活動報告 .....  | 13 |
| ◆◆ ケガをしない身体づくり～ペアストレッチ～ 学術部 .....   | 14 |
| ◆◆ NHK・BSプレミアム時代劇、日本の伝統武道文化、起倒流柔術に迫る<br>ドラマ化『立花登青春手控え』【原作】藤沢周平『獄医立花登手控え』..... | 17 |
| ◆◆ 新しくなる協同組合のインターネット販売システム説明会 .....   | 19 |
| ◆◆ 支部だより  |    |
| ◆ 南山城支部会開催 .....  | 19 |
| ◆ 中丹支部臨時支部会 忘年会 .....   | 20 |
| ◆ 北支部、上京支部、左京支部 合同支部会 .....   | 20 |
| ◆ 宇治支部会・懇親会 .....   | 21 |
| ◆ 西山会 .....   | 21 |
| ◆◆ 会員の動静 .....  | 22 |
| ◆◆ 掲示板コーナー .....  | 22 |
| ◆◆ 編集後記 .....   | 23 |

### 表紙の写真

#### 平安神宮神苑

明治時代の代表的な日本庭園として広く内外に知られている平安神宮神苑は、ご社殿を取り囲むように東・中・西・南の四つの庭からなっています。総面積約10,000坪の広大な池泉回遊式庭園で明治の有名な造園家7代目小川治兵衛らの手になるものです。平安京千年の造園技法の粋を集めた庭園として、昭和50年12月に国の名勝に指定されています。

春の紅しだれ桜、初夏の杜若・花菖蒲、秋の紅葉、冬の雪景色と四季折々に風光明媚な趣を見せるとともに、神々しい風景を織りなす神苑は、人の手で造り出されてから100年以上という時を経た今日、大いなる自然の営みに触れることができ、訪れる人の心を平安へといざなってくれます。 (公式ホームページから引用)

## 巻頭言『ピンチをチャンスに変えてチャレンジして行く』



副会長 林 啓 史

「禍福（かふく）はあざなえる縄のごとし」この世の幸と不幸は、より合わせた縄のように、常に入れ替わりながら変わっていく。「塞翁が馬」とも言われています。これらは人生の客観的なとらえかたであり、運命論的なイメージを受けます。不幸に遭遇しているとき、落ち込み運命に身をゆだねているのではなく、奮起して、どのようにして不幸に立ち向かうかを考え、行動を起こさなければなりません。その際に「ピンチはチャンス」「チャンスはピンチ」の格言を思い出し、ピンチをチャンスととらえ前向きにチャレンジして行くことが大切です。

昨年6月7日定時総会において理事に選任され、執行部の組閣により保険部長兼務の副会長に就任し、長尾淳彦会長のもとに重責を担い、早や一年になろうとしております。長尾会長が掲げておられる「柔道整復師の信頼回復」並びに新たなスローガン「柔道整復師の資格による働く場所の拡充・会員倍増・会館維持対策の構築」の実現・達成に向けて執行部が一丸となって現在取り組んでおりますが、その中で副会長・保険部長として使命を果たすべく、日々努力のいるところであります。

さて、昨年は、不正不当請求・架空請求・無資格施術、さらにこれらに暴力団が絡む不正請求の摘発事件など多くの柔整に係る記事がマスメディアで取り上げられ、心痛む日々を過ごすことになりました。また、行政では、柔道整復師法に

基づき違法な広告等の取り締まりがさらに厳しくなったほか、返戻や疑義照会が一層増加し、厚生（支部）局主導で個別指導・監査も実施されました。本会では、幸い大きな問題が発生しておりませんが、保険部としても各種対策と対応に多忙を極める毎日でありました。

新入会員への6か月にわたる保険取扱い等に関する講習会、年2回の学会・保険講習会、必要に応じて臨時保険講習会、個別指導等を実施している公益社団法人である柔道整復師会の活動を行政・保険者に対して、特に問題発生直後には個々に訪問し詳しく説明しております。実際の療養費申請における実態においても我々公益社団法人所属の会員（協定）と個人契約者（契約）との違いをアピールし、協定会員へのバイアスのない評価と、差別化を求めているところであります。

本会は3つの公益事業（公1、公2、公3）をすることで公益法人として認定を受けております。このうちの公1の事業は「京都府知事及び近畿厚生局長との協定に基づく柔道整復師の施術に係る療養費の受領委任取扱い制度の維持運営に関する事業」を標榜し、その「事業内容」は次の4つからなり、この事業を通じ公益に寄与することを希求されているわけであります。

1. 受領委任取扱い制度の維持運営に関する事業
  - (1) 確約書の徴取及び登録等の手続
  - (2) 療養費支給申請書の一括申請及び療養費の一括受領並びに納金
  - (3) 審査会及び指導
2. 保険講習会及び保険説明会の開催
3. 講師派遣事業
4. 京都府民相談対応事業

これらは保険部の業務と大変関係の深い、と言うよりは、保険部が担っている仕事であるといっても過言ではありません。公益性の追求と会員のご要望には、時として乖離するものがあるかと存じますが、普遍的な価値のあるものを構築することが、先生方への真の福利厚生になるのではないかと確信しております。この点についてご理解の上、特段のご協力を切望してやみません。

解決しなければならない課題が山積しているのは事実であります。このピンチの解決に果敢にチャレンジしチャンスに変える努力を惜しみません。会員を大事にし、何事があっても会員を弁護するところを見つけ弁護する立場にある…の認識に一点の曇りもありません。いつも申し上げていることですが、会員各位と議論を重ね、根気よく対話をし、皆様が納得できる方法を常に模索し、これを実現していくことをお約束いたします。つきましては、会員の先生方におかれましても、常に良識、節度ある行動をお願いしたいということを申し添えまして本稿を終えます。

## 見原 誠 監事に聞く

## ○プロフィール

学歴：昭和59年 中部柔整専門学校卒業  
(現、米田柔整専門学校)

職歴：昭和59年～平成元年 岡山県 小合整骨院  
平成元年6月 京都市北区にて開業



## 一ご自分の性格を（客観的に）

人からは、几帳面だと言われることがありますが、自分ではかなりおおざっぱなところがあると思います。

## 一特技や趣味を教えてください

現在の趣味は、ここ20年以上釣りにはまっています。



## 一柔道整復師を志された理由

子供のころから通院することが多かったことと、父の友人のすすめで志すことになりました。

## 一京都府柔道整復師会での経歴は

入会した平成元年より青年部幹事、その後、原前会長、栗原前会長時代の保険部・学術部をお手伝いさせていただきました。

## 一監事になろうと思われた理由をお聞かせ下さい

現、前の執行部の複数の先生からすすめていただき、少しでもお手伝いできればと思い立候補しました。

一私も含め、他の会員の方々もあまりわかっていないと思うのですが、具体的に監事の仕事とはどのような事をされているのでしょうか

公益法人における監事の役割とは、内閣府の「公益法人の各機関の役割と責任」から引用させて頂きますと、理事職務の監査となっております。このため監事には各種の権限が付与され、ま

た義務が課されています。権限の主なものは、理事の職務執行の監査、計算書類等の監査、事業報告要求、業務・財産の調査、理事会招集請求、理事の行為の差し止め請求、法人と理事との訴えにおける法人の代表、会計監査人の解任等。また、義務の主なものに、善管注意義務、理事会への出席義務、理事会への報告義務（理事の不正行為又はそのおそれ、法令・定款違反、著しく不当な事実がある時）、総会・評議委員会の議案等の調査・報告義務、総会・評議会における説明義務等。当然のことながら理事と同様に責任を負うこととなります。実際に日頃何をしているかという、皆さんの前に出るのは、特別なことがなければ総会時の監査報告ぐらいですが、理事会には必ず出席し、適正に議論され、会運営が行われているかをみています。意見を述べることはありますが、議決権はありません。また、会計書類に関しては、年2回、中田順二監事（弁護士）とともに監査します。量が多いのでそれまでに毎月こまめに書類の確認をしています。出金の目的や金額が逸脱していないか、理由と出金が妥当であるか等、かなり詳しく確認します。主な仕事はこのようなことですが、その他に様々な会の事業のお手伝いをさせていただいています。

#### 一現在、柔道整復師の業界について思われていることは何かありますか

皆さん感じておられるように大変厳しい時代にあると思います。施術所の乱立等に伴う収益の減少も大きなことですが、何よりモラルの低下が心配されます。我々京都府柔道整復師会の会員は、入会後半年間は毎月1回、保険の取り扱いと学術研修が義務付けされ、その後も、保険及び学術の研修において様々な取り組みがされていることは、会員の皆様はご存知だと思いますが、今後このような取り組みが一層評価されるべきだと考えます。

#### 一今後、柔道整復師会はどうあるべきだと思われませんか

日整及び京都府柔道整復師会は、昔から保険や学術等において研修を続けてきました。近年、益々強化も行われています。しかし、関係機関や国民に向けそれを理解してもらうための行動は、十分ではなかったのかもしれませんが。現在、ここの強化に力を入れています。そうすることで、京都府柔道整復師会の信頼を強化し、そして柔道整復師全体の信頼を得る中心となる会であるべきだと思います。

#### 一本会会員に対して伝えたい事はありますか

学会や保険講習会だけでなく、本会の活動にも興味をもち、総会等にも積極的に参加し発言して頂ければと思います。

#### 取材後記

この度はお忙しいところありがとうございました。厳しい情勢の中、本会の運営も何かと大変とは存じますが、今後とも宜しく願いいたします。

（広報部 梅谷慎二）



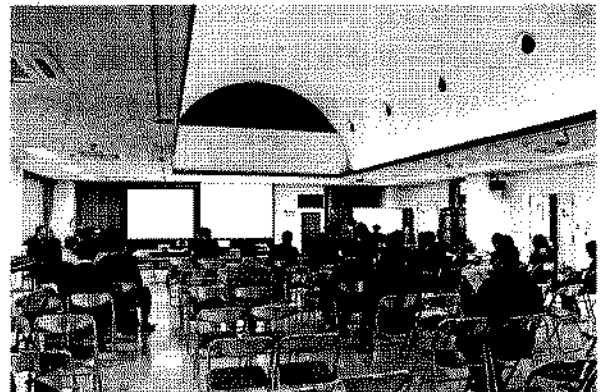
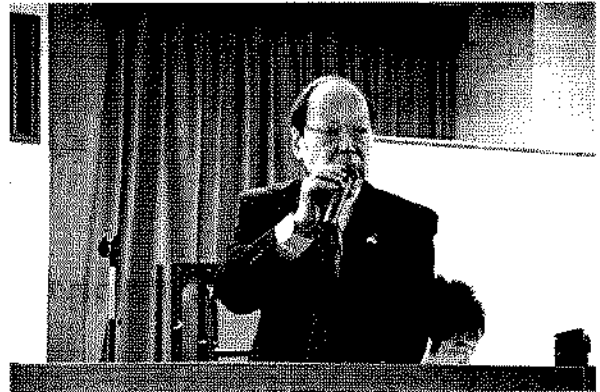
# 会館移転計画について

## 会館移転計画に係る説明会

平成 28 年 1 月 16 日(土)午後 3 時 30 分より京柔整会館 5 階大会議室にて会館移転計画に係る説明会が開かれた。長尾淳彦会長、藤野勝弘委員長が挨拶を述べられ、柴田宗宣副委員長、林啓史委員、中田康人委員、岡田達也委員、山村政男委員が紹介された。

1. 会館移転計画立案の背景
2. 会館移転計画発起の理由
3. 新たな会館確保の選択肢
4. 各選択肢のコストパフォーマンス
5. 会館売却にかかわる社会・経済情勢の売却効果
6. 上記各項目に推論の前提条件
7. 会館売却の是非について
8. 停止条件付不動産売買契約とは
9. 今回締結予定の停止条件付契約の内容
10. 不動産売買契約仲介業者について
11. 契約相手先の要覧

の各項目について、各担当委員が説明を行った。



説明後、会場から質問はなく、午後 4 時 30 分に説明会は終了した。

## 臨時総会

平成 28 年 1 月 23 日(土)午後 3 時 30 分より京都府柔道整復師会館 5 階大会議室にて、臨時総会が行われた。右京支部 中村英弘会員の司会で始まり、柴田宗宣副会長の開会の辞の後、長尾淳彦会長が会館移転に伴う本総会の趣旨を述べられた。

議長、副議長選出にあたり、場内より司会者一任の声があり、それを受け司会者より谷山和浩会員、中川稔貴会員が選出された。議長より本会定款の規定により、理事全員が議事録署名人となると報告された。

会館移転の決議に際し、以下の通り説明された。

- ・会館移転を計画するに至った経緯（中田康人総務部長）
- ・経理状況について、収支の見通しについて、現会館の維持費に係る経費について（柴田宗宣副会長）

- ・土地建物の評価について、路線価、地価公示価格、実勢価格での本会館の評価について  
(林啓史副会長)
- ・不動産売買契約業者について (中田総務部長)
- ・移転先候補地について、会員の分布状況から京都市内で検討中、現在の各設備の稼働率から必要な設備について  
(岡田総務副部長)
- ・会館移転計画のタイムテーブルについて  
(中田総務部長)



本件議案について担当者より詳細な説明があった後、賛成多数で可決した。

林啓史副会長の閉会の辞をもって臨時総会は終了した。

#### 後記

2月に柴田宗宣副会長が委員長となり「会館移転計画実行委員会」が設置されました。移転実行に係る検討・情報収集・分析及び調査が行われています。詳細は、臨時総会前に配布された資料等をお読みください。なお進行状況は、本会お知らせや本会ホームページにて報告されると思いますのでご確認下さい。

## 平成27年度 近畿ブロック会

### 「総務・広報・経理・介護」各部会開催

平成28年1月30日(土)午後3時より京都府柔道整復師会館において、平成27年度近畿ブロック会「総務・経理・介護・広報」各部会が開催されました。

本会より、長尾淳彦会長、中田康人総務部長、中村英弘事業部長、谷山和浩経理部長、中川稔貴広報部長が参加しました。担当別にわかれて、近畿各県の意見・情報交換の会議が行われました。毎年1回、各県の担当者が京都府柔道整復師会館で会議を行っています。

会議終了後、場所を移し平成27年度の日整全国柔道大会で準優勝と健闘された近畿ブロックチームの慰労会も兼ねて、東華菜館にて懇親会が行われました。



会議風景



日整全国柔道大会 近畿ブロックチーム



## 第66回 京都接骨学会、保険講習会

平成 28 年 3 月 13 日(日)午後 1 時より京都府柔道整復師会館 5 階大会議室にて第 66 回京都接骨学会、保険講習会が開催されました。田中弘昭学術副部長が総合司会を務め、柴田宗宣副会長の開会の辞で始まり、長尾淳彦会長の挨拶がありました。内容は柔整師の国試の話、正式に柔整師と認められる要件について、厚労省の大学のカリキュラム制定をする委員会での活動のお話を経て柔整師の資質向上について話されました。本日の学会においては、各人で積み重ねてきたものがあるけれど、一度、頭の中をクリアにして新たな気持ちで受け入れることで有意義なものとなると話されました。次に会員発表に移り、下記の順で発表されました。



長尾淳彦会長と発表者の面々



会場の様子

①演題「鷹足炎の一症例について」 南山城支部 上村雅章会員

※増井直義会員が代読されました。

脛骨近位内側部で縫工筋、薄筋、半腱様筋の付着部における炎症である鷹足炎について、伸縮性テープを用い、ストレッチ指導を行っての治験例を発表されました。

②演題「猫背について」 城陽支部 中村一品会員 柳生広昭会員

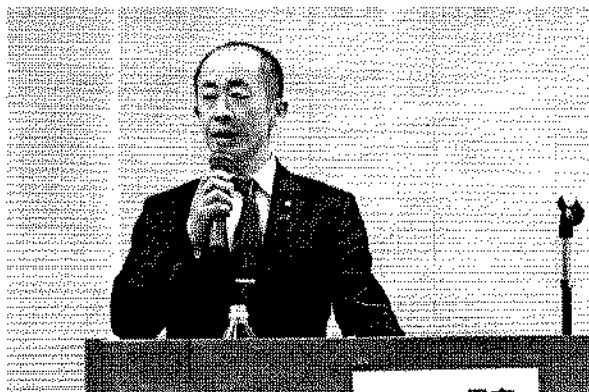
日本人の 7 割が猫背ともいわれ、世界の猫背人口の 6 割が日本人といわれているそうです。円背型、前肩型、顔出し型、首無し型に分類されるそれぞれの症例についてアプローチの仕方を発表されました。

③演題「黄色靭帯肥厚による坐骨神経痛の症例」乙訓支部 石田陽寛会員

表記の症例について態様、徒手検査、手技について分析、解説された発表でした。



林啓史副会長



中村英弘保険副部長

④演題「捻挫の一考察-「急性・亜急性の一考察」をふまえて-」 東山・山科支部 岡村優輝会員

前回の京都接骨学会において岡村会員が発表された「急性・亜急性の一考察」の続編といえるような発表です。今回は柔道整復の「捻挫」と医科における「捻挫症」との違いに着目して、解説されました。今回も様々な考察を通じて柔整領域における業務範囲の考え方について一石を投じる発表でした。

次に超音波画像について講演が行われました。講師は下記のとおりです。

⑤株式会社 エス・エス・ピー 超音波営業部マネージャー 柳澤昭一様

テーマとして「なぜ今運動器、超音波か」としてお話をされました。運動器分野の医学的進歩は画像診断技術の進歩で飛躍的な発達を遂げてきました。病歴と身体所見で診断がついても損傷の範囲や程度で治療法は変わっていきます。超音波は触診の直下の様子をリアルタイムに観察できるという特性があります。そのような超音波について多くの画像を見ながら解説をされ、超音波の柔整領域への有用性が理解できる講演でした。

次に「匠の技の伝承」として下記の発表が行われました。

⑥演題「足部損傷について」 右京支部 菅野泰二郎会員

菅野会員は明治柔道整復専門学校で学ばれた際、故・小西賢蔵先生に師事され、学ばれた技術を元に長年の臨床経験からくる治験例を踏まえ、優れた柔道整復術を継承されておられます。今回、その中で足部損傷を取りあげ、注意点や周辺情報を解説され、実技を中心に実際にモデルに対し施術を行い発表されました。質疑応答の時間もあり、興味深いお話を伺うことができ有意義な時間でした。

その後、表彰に移り長尾会長より表彰状と楯が発表者に贈られました。

京都接骨学会の後、午後3時より多賀裕展保険部員の司会で保険講習会に移りました。講習内容は以下の通りです。

①最近の保険情勢 中村英弘保険副部長

疑義返戻について保険者別等に分類して詳細に件数、内容、傾向、対策等について解説されました。

②保険部からのお知らせ 林 啓史副会長

内容は自賠責保険被害者請求、療養費支給申請書に係るマイナンバーの取扱いなどでした。

以上で当日のプログラムは滞りなく終了し、林 啓史副会長の閉会の辞により成功裏に終了しました。参加者数は会員 143 名、研修生 4 名でした。



(株)エス・エスピー 柳澤昭一様



菅野泰二郎会員による発表の様子

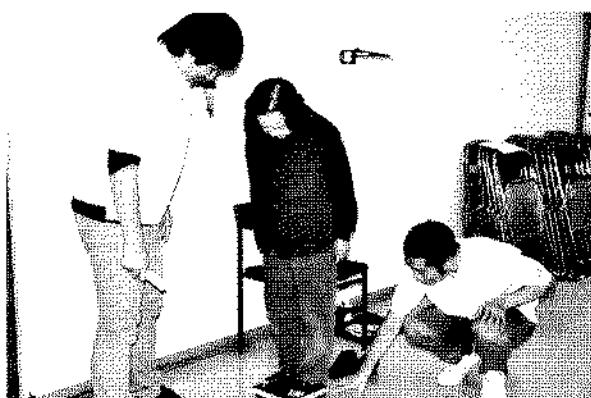
## 「筋力アップ体操と福祉相談のサロン」開催

平成 27 年 11 月 28 日(土)と平成 28 年 3 月 26 日(土)の両日、午後 2 時より京柔整会館 5 階大会議室において、公益社団法人京都府柔道整復師会主催による「筋力アップ体操と福祉相談のサロン」が開催されました。これは、京都市社会福祉協議会「福祉の絆づくり事業」の一環として、高齢者が自身の体力を認知していただくこと、また、閉じこもりを防止し、近隣の方とコミュニケーションを図っていただく目的で開催されたものです。参加対象者は京都市東山区にある京柔整会館近隣にお住まいで、特に運動制限のない 65 歳以上の方となっており、参加費は無料となっています。

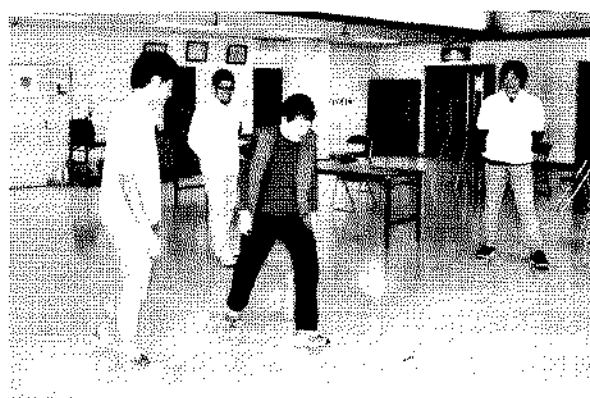
まず初めに、岡田達也事業副部長から本日の内容説明があり、続いて、担当事業部員により、参加者の血圧測定および BMI (注 1) の計測が行われました。その後、順番に①握力②長座位体前屈③開眼片足立ち④5メートル歩行⑤Time Up and Go (TUG) (注 2) ⑥膝伸展筋力の測定および結果説明が行われました。最後に筋力アップ体操および整理体操を行った後、茶話会で団樂しながら介護保険や福祉に関する相談会が行われ、和やかな雰囲気での閉会となりました。

(注 1) Body Mass Index の略で、身長と体重の関係から肥満度を判定する体格指数。

(注 2) 椅子から立ち上がり、3メートル歩行して目印で方向転換し、再び3メートル歩行して椅子に座る複合動作の所要時間を測定する。



BMI の計測



Time Up and Go



体操風景



茶話会と福祉相談会

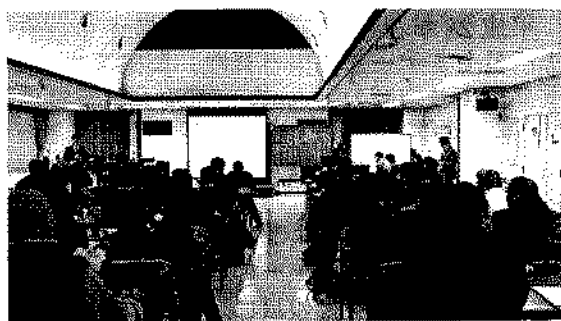
# 平成27年度 在宅療養等従事者確保支援事業 認知症対応力向上研修会

平成27年12月13日(日)及び平成28年2月7日午前9時20分より本会会館5階、大会議室において認知症対応力向上研修会が開催された。この研修会は京都府健康福祉部医療課の平成27年度在宅療養等従事者確保支援事業の一環として行われたものです。12月13日は岡田達也事業副部長、2月7日は木藤知弘事業部員の司会で始まり、長尾淳彦会長の挨拶があった。2月7日は市長選応援の為、長尾淳彦会長の挨拶は昼に行われた。内容は当講習会が府の補助金をいただいて開催されている旨を述べられ、これは我々の団体が公的に認められているということを示しており、出席者の皆さんは心して受講し、内容の習得に努めて欲しいと話された。次にオリエンテーションとして当日の研修の流れについて説明があった。カリキュラムを次に示す。

- 9:00～9:20 受付
- 9:20～9:30 オリエンテーション
- 9:30～11:00 第1講義「高齢者と介護保険や社会福祉制度との関わり合い」  
社会福祉法人京都市社会福祉協議会  
施設福祉推進室 介護保険事業部部長 齋藤忠彦様
- 11:10～12:40 第2講義「高齢者の身体的特徴、認知症の基礎知識」  
杉本医院 医学博士 杉本英造様 (12月13日ご講演)  
第2講義「高齢者の身体的特徴、認知症の基礎知識」  
はやし神経内科 医学博士 林 理之様 (2月7日ご講演)
- 12:40～13:30 昼食
- 13:30～15:00 第3講義「社会的資源の活用や連携方法、実践的な接し方」  
日ノ岡地域包括支援センター センター長 堀田晃平様
- 15:00～15:20 閉会式

司会を稲葉正和事業部員に代わり第1講義に移った。講師紹介の後、講義が始められた。前半は介護保険制度についての解説などを中心に配布資料に沿って進められた。後半は京都市の冊子「高齢者ガイドブック すこやか進行中 平成27年度版」に沿って制度の内容についてお話された。次に質疑応答の時間が設けられた。以下、内容を記す。

- ・質疑：接骨院の現場で認知症の疑いがある方がおられた場合、個人情報の問題もあり、どのように対応したら良いでしょうか。
- ・応答：ご家族がおられる場合、まず、ご家族に連絡を取って相談するのがいいでしょう。独居の場合、地域包括推進センターに電話で連絡を取って相談するのがいいと思います。



研修会の様子

10分の休憩の後、第2講義が始められた。講師紹介の後、プロジェクターを使ってパワーポイントによる豊富で多彩な資料を見ながら講義が進行された。12月13日のこの時間ではさまざまなエピソードを交えながら認知症の実践的な態様や症状について学んだ。講義は注目されている認知症ケアの手法「ユマニチュード」の具体的な方法や薬物投与の現状や副作用についても述べられた。また、テレビ放映された認知症の母を介護する生活をされている娘さんのドキュメントも見せていただき、認知症について、より理解を深めることができた。以下質疑応答の内容を示す。

- ・質疑：我々柔道整復師は介護分野で機能訓練指導員の資格が取れるのですが、今後、活動の拡大について何かご助言等いただけますでしょうか。
- ・応答：機能回復というよりは現状維持に主眼を置いてデイケアでの施術をすることは利用者さんに有用ですし、精神面でのケアにもつながると思われれます。(要旨)

2月7日の講義では認知症のタイプについての説明があり、主にアルツハイマー型、レビー小体型についての病理、原因についてのお話をされた。年齢を重ねる毎に認知症リスクは高まること、そして病的には発症していてもおかしくない状態であっても脳を使う事により認知症の抑制効果がある事などの解説をして頂き、最後に質疑応答が行われ、第2講義が終了した。

昼食をはさんで午後1時30分より第3講義が始められた。講師紹介の後、パワーポイントを使用して講義があった。前半は社会的資源について、制度論などのお話や、地域包括支援センター（高齢サポート）の活動について、地域包括ケアシステムの概要、目的などについて講義が進められた。後半は相談面接技術について、実技を交えて具体的な対応について講義が進んだ。実技として参加者同士で趣味について話すが、そのとき聞き手が目を合わさず、うなずきもせず対応するということを体験し、面接者のアイコンタクトを含めた対応がいかに大切かということを理解した。後、施術所での患者さんとの会話を例題としたロールプレイ実習が行われて、面接対応について理解を深めた。定刻になり終了した。

午後3時より閉会式が行われ、柴田宗宣副会長の挨拶を以て成功裏に終了となった。今回の講習会は我々柔整師がデイサービスなどでの介護分野で活動するとき、有用なものとなると考えられる。また、構築が進んでゆく地域包括ケアシステムにも何らかの形でマンパワーとして参入していく可能性を広げていくことにもつながるのではないだろうか。そうなることを大いに期待したいものである。



長尾淳彦会長



齋藤忠彦講師



杉本英造講師



林 理之講師



堀田晃平講師

## 京柔整 介護支援専門員セミナー開催

平成 28 年 3 月 6 日(日)午後 2 時から京都府柔道整復師会館 5 階大会議室において、京柔整介護支援専門員セミナーが開催された。岡田達也事業副部長の司会、本会長長尾淳彦会長の挨拶の後、中村英弘事業部長より講師の井上 基 京都府介護支援専門員会会長が紹介された。

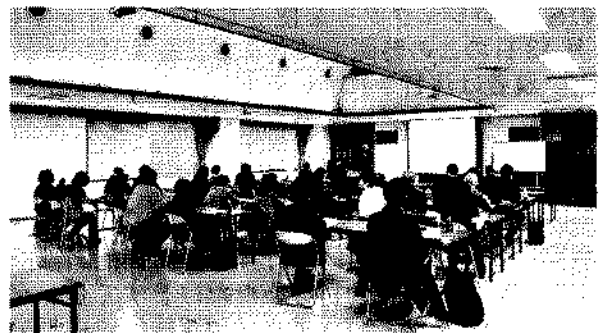
「運営基準に沿った居宅介護支援の実務&今後どうなる？ ケアマネジャー～平成 30 年の改定に向けて～」と題し、前半は運営基準、解釈通知、集団指導資料、自主点検表を提示され、どのようにケアマネジャーの実務をすればよいか、わかりやすく講演された。

後半は今までの料金改定や制度改正から今後予測されるケアマネジャーの動向について講演していただいた。ケアマネジャーの質が問われ、その評価をどうするかが注目される流れに、また、ケアマネジメント、ケアプランの自己負担化の流れになるだろうとの見通しを講演された。

柴田宗宣副会長の閉会の挨拶でセミナーは終了した。



井上 基 京都府介護支援専門員会会長



会場風景



# 「京都府柔道整復師会 特別昇段審査会」 救護活動報告

救急救護隊 第六分隊 分隊長 国本 一路

平成 28 年 1 月 24 日(日)京都府柔道整復師会館 4 階柔道場において、標記柔道昇段審査会が開催されました。出場選手は京都仏眼医療専門学校と京都医健専門学校の柔道整復師を目指す学生であり、日頃の練習の成果を発揮すべく、熱戦が展開されました。

負傷者は右尺骨頭骨折(疑)1名、右第1中手指節関節捻挫1名、左中手部打撲1名の計3名でした。問題にはなりませんでしたが、試合中に受身の未熟さから頭部を畳に打ち衝けた選手を5名ほど確認しました。脳震盪などの柔道事故が問題となっている昨今、インシデント事例として報告するとともに、特別昇段審査会における安全対策の一環として、受身の習熟度などを確認することも必要ではないかと感じました。



# 「第12回 八幡親善柔道大会」救護活動報告

救急救護隊 第六分隊 分隊長 国本 一路

平成 28 年 2 月 20 日(土)八幡市民体育館において第 12 回八幡親善柔道大会が開催されました。

出場選手は幼児から小学 6 年生まで幅広く、近畿を代表する道場の選手たちが手に汗握る熱戦を展開。本大会の救護班として、私と岡田達也副隊長が負傷者の処置にあたりました。

なお、今大会は午前 10 時に開会され順次、団体戦が行われましたが土曜日の開催であるため、われわれ救護班は午後からの個人戦より任務に当たる事となりました。

ここで私と岡田副隊長は役割分担を決め、私が試合場での負傷の処置(鼻血の止血や救護スペースへの搬送など)を担当し、岡田副隊長が救護スペースでの負傷処置を行いました。

負傷者は捻挫・打撲を中心に 4 名でした。

また今大会において、柔道大会における柔道整復師が行う救護処置の範囲について岡田副隊長と確認し、京都府柔道整復師会救急救護隊のスキルアップの必要性を話し合いました。





# 「ケガをしない身体づくり～ペアストレッチ～」

公益社団法人 京都府柔道整復師会 学術部作成

本会学術部が取り組んでいるストレッチや体操のやり方などをご紹介します。

本会会員の方は、(公社)京都府柔道整復師会ホームページの会員ページでダウンロード出来ますので、施術所で閲覧、患者さんの指導などにご活用下さい。

なお、本会会員以外の活用及び複製は禁止致します。本冊子においても複製は禁止です。

## 【ストレッチングの効果】

- ・ 関節可動域の改善 (柔軟性のアップ)
- ・ 痛みの軽減
- ・ 疲労感の軽減
- ・ 外傷、障害の予防
- ・ リラックス効果 など

## 【ストレッチングの分類】

- 1) スタティックストレッチ (ゆっくりと筋肉を伸ばす方法) セルフ、ペア
- 2) パリスティックストレッチ (反動をつけて筋肉を伸ばす方法)
- 3) ダイナミックストレッチ (相反神経支配を利用した方法、ブラジル体操など)

## 【ペアストレッチを行う際の注意点】

- ① リラックスした状態で行う
- ② 常に相手とコミュニケーションを取る (気持ちいいとめる、無理に引き伸ばさない)
- ③ 呼吸に注意 (息を吐きながら伸ばしてもらう、息を止めない)
- ④ 代償運動に注意する (筋肉が硬い場合他の関節が動いてしまう)

### 注意点

- ・ 手は握るのではなく掌にのせる感じ
- ・ 変形性疾患の方、人工股・膝関節の方には細心の注意をはかりましょう
- ・ 伸びてるか、気持ちいいかを受け手に確認しましょう
- ・ 代償運動を見逃さないで!
- ・ 受け手の方はリラックスして伸ばしてもらう時は息を吐きます

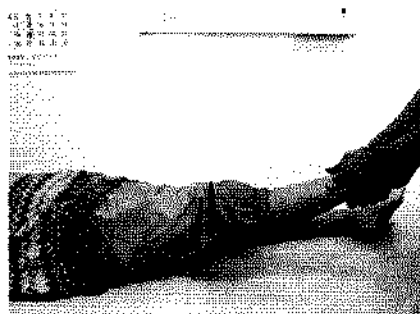
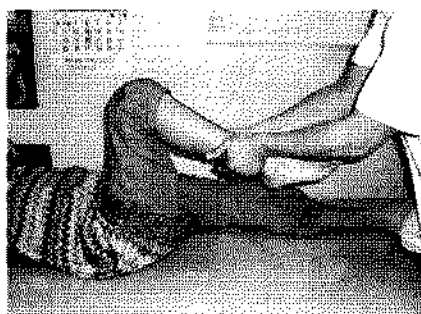
## 【ペアストレッチングの実際】 \*伸ばす方の足を**右**と仮定します

### 股関節・大腿編です

#### 1. 股関節を緩める

##### ① 片足ずつけてもらい補助します (10回)

- ・ 受け手はあおむけ
- ・ パートナーは両手で右足首を抱え上げ股関節90度以上曲げた状態から受け手に勢いよくけてもらう

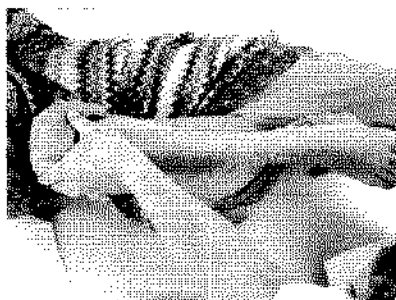


- ・ 引っ張るのではなくあくまでけてもらう、だから手は添えるだけです
- ・ 足首を握らないように
- ・ 変形性疾患の方はゆっくりと無理なく

## ②股関節を曲げる（三方向）



- ・受け手はあおむけ
- ・パートナーは左手を受け手の膝、右手で踵を包むように持ちます
- ・そのまま体重をかけていき付け根部分を曲げていきます
- ・徐々に外側に押す方向を変えて伸びている筋肉の違いを見ます
- ・股関節に痛みを感じない程度で行います！



## ③お尻の筋肉を伸ばす



- ・受け手はあおむけ
- ・パートナーは左手を膝外側に、右手を右足首にあてます
- ・股関節、膝関節を90°曲げた状態からゆっくりと外旋（太ももを軸に足首を内に）していきます
- ・その状態のまま胸の方に倒していきます（右でん部のストレッチ感を確認しましょう）

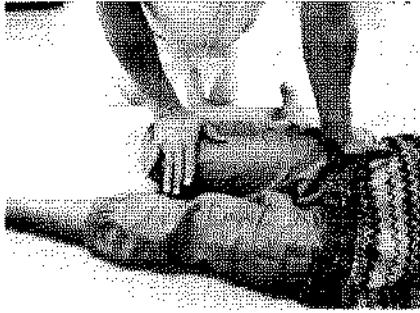
## 2. 太ももの筋肉を緩める

### ①太ももの後面を伸ばす



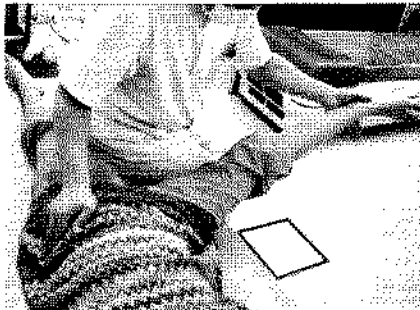
- ・受け手はあおむけ
- ・パートナーは左手を受け手の右膝上に、右手を右足首にそえます
- ・右膝が曲がらないようにゆっくりと右足を上げていきます
- ・左足、右でん部が浮かないように注意（代償運動）
- ・シビレ等が出た場合は中止して下さい

## ②太ももの前面を伸ばす

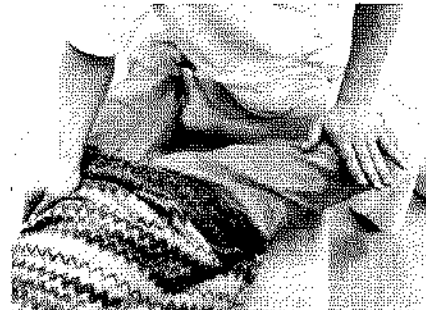


- ・受け手はあおむけ
- ・右膝屈曲位で少し内旋させます（右足部を身体より外へ）
- ・パートナーの左手を右上前腸骨棘（骨盤の前のでっぱり）に、右手を膝上外側に当てます
- ・右膝上に当てた右手で膝を倒していく
- ・右上前腸骨棘に当てた手は骨盤が浮いてくるのを抑えるだけで抑え込まないで（痛い）
- ・股、膝、足首の痛みに注意しましょう

## ③太ももの内側を伸ばす

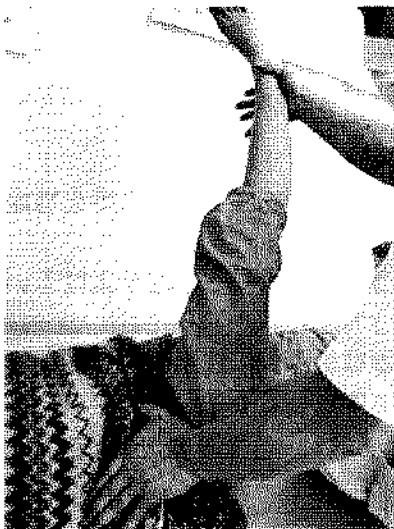


かたい人は膝屈曲位で行う



- ・左手に受け手の足首をのせ 右手で反対方向の上前腸骨棘（骨盤の前のでっぱり）を浮かないように止めます
- ・パートナーは太もも裏を伸ばすストレッチを行い、そこから右足を外側に下ろしていきます

## ④太ももの外側を伸ばす



かたい人は膝屈曲位で行う



- ・右手に受け手の右足首をのせ左手は上前腸骨棘（骨盤の前のでっぱり）を浮かないように止めます
- ・パートナーは太もも裏を伸ばすストレッチを行いそこから左足方向へ下ろしていきます

NHK・BSプレミアム時代劇、  
日本の伝統武道文化、起倒流柔術に迫る  
ドラマ化「立花登青春手控え」  
【原作】藤沢周平『獄医立花登手控え』

(解説) 江戸小伝馬町の牢獄に勤める青年医師、立花 登。居候先の叔父の家で口うるさい叔母と驕慢きょうまんな娘にこき使われている登は、島送りの船を待つ囚人からの頼みに耳を貸したことから、思わぬ危機に陥った。

起倒流柔術の捨身技とあざやかな推理で、獄舎に持ちこまれるさまざまな事件を解く。著者の代表的、時代劇ドラマであります。5月13日よりNHK・BSプレミアム時代劇で、放送が開始されます。

平成28年1月28日(木)京都府柔道整復師会館道場において、起倒流柔術(古式の型)の技術説明を行う。なお当日松竹映画より、主役 立花 登役の溝端淳平さん、殺陣師、演出部の皆さん方が多数出席されました。



集合写真

松竹映画株式会社

映像企画部テレビ企画室

プロデューサー 原 克子 氏

松竹撮影所京都製作所制作室

ラインプロデューサー

都築直飛 氏

(京都府柔道整復師会)

監督 栗原壽雄

統括監督 長尾淳彦

マネージャー 中田康人

起倒流柔術(勢法)

(取形) 井上彰二

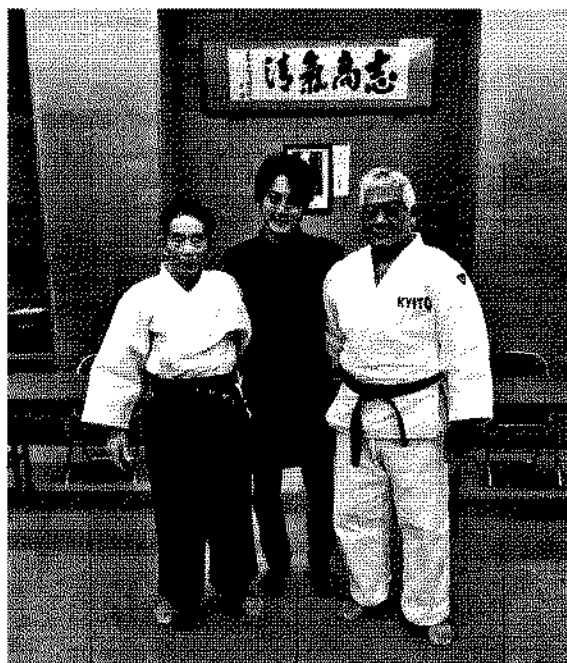
(請立) 岡島 順

(解説) 面村美紀



右背負落 雪 折 (ゆきおれ)

(起倒柔道)



左より井上彰二会員 溝端淳平氏 岡島順会員

起倒流の形は、よほど優れた能力の人が苦心して創ったものに違いなく投勝負の中に於ける高尚な理論を、実際に体の扱いで練習するものであり勝負を超越し、心を修めることにその目的がおかれていたのである。

乾坤一擲の捨身技 (夢中) 武術はすべて、職人芸、理論より実践が原則そこに武道に対する厳しさと誠実さを感じることもある。

(参考文献) 石川島人足寄場、石川島 (流刑)、江戸小伝馬町牢獄 (檻)

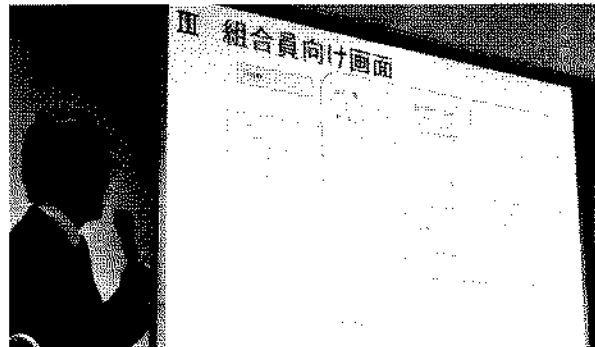
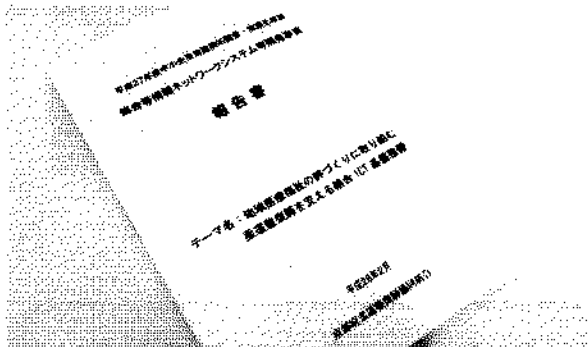
俳優、溝端淳平さん起倒流柔術の雄、『獄医立花登手控え』活躍の勇姿を松竹太秦撮影所にて、3月クラクイン 藤沢周平 (原作)『春秋の (檻)』 記) 井上彰二 (柔道整復研究室)

## 第2回 京都府中小企業団体中央会補助金事業講習会 「新しくなる協同組合のインターネット販売システム説明会」

平成28年2月13日(土)午後3時30分より京柔整会館5階大会議室において、京都府柔道整復師協同組合のインターネット販売を再開するにあたり、京都府中小企業団体中央会の補助金事業の一環として、第2回目の講習会が開催されました。前回と同様、同志社女子大学 現代社会学部社会システム学科教授の加藤敦先生をお迎えし、「新しくなる協同組合のインターネット販売システム説明会」と題して講演いただきました。なお、今回は協同組合役員、組合員のみならず、指定業者様にもご出席を賜りました。

内容としましては、全組合員に配布されました冊子を基に、購買者側・業者側・組合事務局側、それぞれの共同購買システムの基本機能について、次にアクティビティーポイント(ポイント付与)について、そして、組合員向け画面より実際の入力方法等を説明していただきました。最後に加藤先生より、「インターネットによる受発注システムを刷新することは、事務作業の効率化と組合員間の商品知識や情報を共有化し、アクティビティーポイント管理システムと合わせて、1. 売り手(組合事務局および業者)よし・2. 買い手(組合員)よし・3. 利用者(患者さん)よしの3方よしに繋がるが、一方で情報ネットワークを生かすには、確固たるセキュリティ保持対策が求められる」と結ばれ、講習会は終了しました。

(投稿: 協同組合理事 波多野晃彦)



加藤 敦 講師

支部だより

## 南山城支部会開催

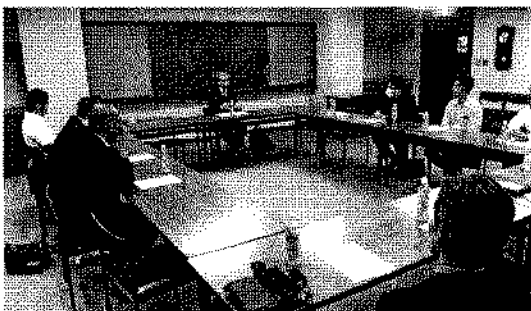
通信員 市 位 尚 也

平成27年10月17日(土)、会館3階中会議室にて南山城支部会が開催されました。

午後6時より、ご来賓の林啓史副会長より、最近の保険情勢についてお話ししていただきました。質疑応答も行われ、充実した支部会となりました。続いて、場所を移して午後7時より、「先斗町 味がさね」において懇親会が開

催されました。林啓史副会長にもご参加いただき、引き続き、今後の保険情勢や本会員として取り組むべき事等、様々なお話をしていただきました。

2時間程、なごやかに宴が進み、最後に支部会員で集合写真を撮り閉会となりました。





支部だより

## 中丹支部臨時支部会 忘年会

通信員 山根文彦

平成27年12月12日(土)に福知山市の「紀文」にて中丹支部忘年会を行いました。宴を始める前に、臨時支部会にて、織田剛支部長から、10月に開催された全体会議での当支部から提案、要望の返答や中丹、北丹での保険講習会開催の報告を受けました。

その後、支部忘年会に入り、美味しい鍋料理

を囲みながら、会員の親睦を深めました。臨時支部会を行ってからの流れで普段の忘年会以上に、業界の話が出る活発な宴で、良い雰囲気の中で終了しました。



支部だより

## 北支部、上京支部、左京支部 合同支部会

左京支部 通信員 山形高明

平成28年2月20日にウェスティン都ホテル京都にて北支部、上京支部、左京支部の合同支部会を開催いたしました。38名の会員が集まり各支部に分かれまして、近況報告や会員動静の報告が支部長より行われました。

その後本会から来賓として長尾淳彦会長にお越しいただき、公益社団法人としての柔道整復師の在り方や京都府や京都市などの行政への活動報告や交通事故における損保会社とのトラブル

の現状等を講演頂きました。

懇親会は午後7時から始まり、三支部合同とあって和気藹藹と団欒いたしまして終了予定時刻を過ぎつつ、最後に柴田宗宣副会長の万歳三唱で閉幕となりました。

昨今、支部会の集まりも悪いと報告がありましたので人数が少しでも多い方が良いとの事で、次回、夏の支部会も三支部で開催いたします。



支部だより

## 宇治支部会・懇親会

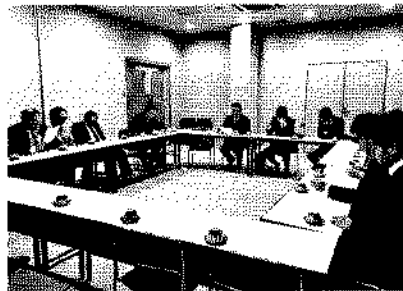
宇治支部 通信員 保田宗伯

平成 28 年 2 月 27 日(土)宇治市「花やしき浮舟園」にて、支部会員 16 名、本会より長尾淳彦会長を迎え、計 17 名で支部会が開催されました。午後 5 時 00 分より、与那覇秀毅支部長の挨拶から支部会が始まり、3 月に京都接骨学会が行われた事や、7 月に救命講習が行われた事、また、10 月に行われた全体会議の内容等の説明があり、その後、会館移転計画について、委員の中田康人先生より現状報告がありました。次いで、平成 27 年度の支部会計報告が会計担当の広林一成先生よりありました。その後、新入会員の紹介へと移りました。

そして最後に、本会、長尾淳彦会長による会

館移転、最近の保険の情勢等のお話がありました。

また、支部懇親会には、お忙しい中、来賓として、国会議員・安藤裕先生の代理として秘書の高頭さくら様、京都府議会議員・村田正治先生、宇治市議会議員・堀明人先生を迎えて晴れやかな舞台となりました。午後 6 時 30 分より、懇親会が國本清先生の乾杯の音頭で始まりしました。新入会員も新たに加わり、和やかな宴となりました。また、支部員同志の団結が、より強く深くなったと感じ、瞬く間に時は過ぎ、有意義な時間で親睦を深め懇親会は南賢三先生の本締めで閉会となりました。



支部だより

## 西山会

通信員 吉川秀則

春の日差しを感じ始めた平成 28 年 3 月 5 日(土)に、西山会研修会並びに懇親会を開催いたしました。研修会は京柔整会館 5 階で、「最近の保険情勢」について本会副会長・保険部長の林啓史先生にご講演いただきました。内容としては、健康保険・労災・交通事故など幅広い範囲について、Q & A 方式を中心に進行了ました。Q & A 方式ですから、会員が分からないことが中心です。そのため新しい情報だけではなく、分かったつもりでも今更聞けないことなど、

この場だから聞くことができる内容で、有意義な研修会になりました。懇親会は場所を移動して、「京料理はり清」で開催しました。こちらは江戸時代から営業されていて、お料理だけではなく、日本の文化も堪能できます。懇親会からは、本会顧問の衆議院議員田中英之先生と、本会会長の長尾淳彦先生にご参加いただきました。柔道整復の業務はもちろんですが、医療全体における課題やこれからの展望について、貴重なお話を伺うことができました。



# 会員の動静

## 新入会員紹介

**岡本 敏史** (中京支部)  
 (1月入会) げん氣整骨院  
 〒604-8227  
 京都市中京区西洞院通  
 錦小路上る古西町436  
 興和セントラルビル1F  
 Tel・Fax: 075-255-0209



**久見 達也** (宇治支部)  
 (2月入会) ひさみ接骨院  
 〒611-0021  
 京都府宇治市宇治半白8-96  
 Tel・Fax: 0774-21-1228



## 退会

|     |              |             |
|-----|--------------|-------------|
| 11月 | 湯浅力哉 (南山城支部) | 28年         |
| 12月 | 岡本憲幸 (伏見支部)  | 2月          |
|     | 湯浅裕介 (中京支部)  | 3月          |
|     | 北村啓二 (北支部)   | 相良英人 (上京支部) |
|     | 橋本佳起 (北支部)   | 山田 明 (乙訓支部) |

## 掲示板コーナー

### 京柔整カレンダー

|    |                 | 柔整関係                       | 京都の行事              |
|----|-----------------|----------------------------|--------------------|
| 4月 | 上旬              |                            | 京都御所春季一般公開 (京都御所)  |
| 5月 | 1日(日)~9月30日(金)  |                            | 鴨川納涼床・貴船の川床        |
|    | 15日(日)          |                            | 葵祭 (下鴨神社・上賀茂神社)    |
|    | 21日(土)          | 協同組合総代会                    |                    |
|    | 22日(日)          | 普通救命講習                     |                    |
| 6月 | 5日(日)           | 日整全国少年柔道京都大会<br>(旧武徳殿)     |                    |
|    | 12日(日)          | 定時総会・懇親会                   |                    |
|    | 15日(水)~9月23日(金) |                            | 宇治川の鶺鴒 (宇治塔の島公園周辺) |
| 7月 | 1日(金)~31日(日)    |                            | 祇園祭2016            |
|    | 17日(日)          |                            | 山鉾巡行               |
|    | 31日(日)          | 第42回近畿ブロック柔道大会<br>(武道センター) |                    |

## 編集後記

- 平成28年3月29日(火)に第4回柔道整復療養費検討専門委員会が開催されました。今年度は診療報酬の改定とともに療養費の改定も迎えます。動向に注目したいと思います。森田康裕
- 1月は行く、2月は逃げる、3月は去ると昔から言われておりますが、年が明けてからの3か月は本当に早いもので、気が付けば桜の季節になっていたという感じですね。それだけ年齢を重ねてきたのかなあと思う今日この頃です。梅谷
- 元々カメラには興味がありましたが、本会広報部でお仕事をさせて頂くようになってからでしょうか、自分でデジタル一眼レフを購入するまでになりました。コンパクトデジカメにはない「カシャ!」というあの機械的なシャッター音と指に伝わる感触がなんとも言えず、ハマってしまったのが始まりで、それからというもの、暇さえあれば「釣りバカ日誌」ならぬ「カメラバカ日誌」状態に…。とことん追求しないと気が済まない私の性格から、あのカメラにあのレンズと機種にもこだわるようになり、わが家の総理大臣兼財務大臣にも睨まれる始末です。hatabou
- 長いようで短い冬が終わり、スギ花粉の季節も終わり、また桜の季節がやってきた。あつというまに花は散ってしまうのだけど、この季節は別れと出会いの季節でもある。ずっと繰り返してきたこと、ずっとこのまま永遠に続くかのような毎日があっけなく終わりを告げることがある。ご縁をいただいてお世話になっている方々にこの機会にお礼を言っておきます。本当にどうもありがとうございます。至らなくてすみません。Yuji
- 理事となって早、一年が過ぎようとしています。今年の最重要課題としては「会館移転計画」だと思います。一理事としまして、会員の皆さまのご理解とご協力をお願いします。本会の情報はホームページに随時更新していますので、定期的にご確認ください。(http://www.kyojusei.com/) さて気候も良い感じになってきましたので、ツーリングへと出かけます♪ 風します? ☆nakatoshi☆

次号 しめ切り 5月27日

## 京柔整会報

### 機関誌 139号

平成28年4月20日

発行者 公益社団法人 京都府柔道整復師会  
会長 長尾 淳彦  
編集責任者 広報部 中川 稔 貴  
発行所 京都市東山区大和大路五条下ル東入芳野町79の2  
☎ 京都 (075) 541-4500  
(広報部)  
印刷所 奥原印刷紙行  
京都市西京区松室北河原町25  
TEL. (075) 381-5611  
FAX. (075) 392-0111

# 学大察因烈国台民



北京整...  
...  
...

